

東北地方太平洋沖地震による震災発生にあたって

3月11日に、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0の大地震が発生し、多くの尊い命が奪われ、甚大な被害が発生しました。心から追悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

巻頭言の内容を変更し、今回の大震災に際して安全工学会からのメッセージを掲載させていただきます。

特定非営利活動法人 安全工学会は、各種災害の知識および安全対策技術の向上と普及により産業の発展及び社会の福祉に貢献することを目的に活動しております。様々な災害事例の分析や、危険現象・物質・装置・システム等についての科学的な解析により、災害の未然防止や被害軽減のための知識や技術の向上をはかり、その普及に務めてまいりました。今回の震災は1000年に1度以下という未曾有の大地震によるものでありましたが、その自然の猛威を前に人間の力のなさを認めざるを得ない出来事でした。

今回の震災においては、地震動や津波の発生とともに、火災、爆発、さらには原子力発電施設の異常などが発生し被害を大きくしています。これらの災害については、安全工学会の活動あるいは各会員の活動として、災害研究や対策技術の検討・開発などがおこなわれています。これらの知識や技術を災害の進展の阻止、二次災害の防止などに生かし、少しでも被災地の支援に生かすことをまずは進めていかなければならないと考えています。さらに、災害調査を今後進めることで、今回のような大地震発生時にも被害を低減できる知識や技術をつちかい、その普及に努めることで社会のさらなる安全に貢献してゆくことが安全工学会の使命と考えています。安全工学会会員の皆様におかれましても、上記の趣旨をご理解いただき活動されることをお願いいたします。

震災からの復旧、復興には多くの時間を要することが予想されますが、一日も早く震災前の日々に復帰することを祈念しております。

平成23年3月23日 特定非営利活動法人 安全工学会